

岡山大学学歌

♩ = 112 おおらかにかがやかしく

久坂 恭 作詞
松本民之助 作曲

やまのみなみに ひかりあふれて つど
いよーひとみあかーるし あおぎみる
はるけきかなた おおいなりもゆるのぞみはと
おくとも そをまなびてもと めん

- 一、山の南に光りあふれて
つどいよる ひとみあかるし
仰ぎみる はるけきかなた
大いなり もゆる望みは
遠くとも そを
学びてもとめん
- 二、内海のほとり 風はさやかに
つどいよる いぶきは深し
胸をはり まゆをあぐれば
いやたかし むねの誇りは
ふかくひめ そを
学びてまらん
- 三、まがねふく国 名はふるくとも
古の ふみをつたえて
うちたてん とこしへの道
きわみなくそを
学びてたてん

岡山大学学生歌

元気に面も味深く

(昭和28年度)

三沢 信弘 作詞
宮原 禎次 作曲

われらは あつ—まり はんだやまの やますそに
こがらしが すさぶなかをわれらのまなびやを
ま も ろ う お お お か
だ い わ れ ら の も の

- 一、われらはあつまり
はんだ山の山すそに
こがらしがすさぶ中を
われらの学舎(がくしゃ)を守るう
おお岡大われらのもの
- 二、われらはあつまり
ひろい校庭の一面に
もえたつ若木のように
われらの未来を語ろう
おお岡大われらのもの
- 三、われらはあつまり
われらのうたをうたおう
自由と平和のために
まなびゆくわれらのうたを
おお岡大われらのもの

学歌について

昭和34年、創立10周年を記念して学歌を制定することになり、歌詞を募集したが、応募作品中該当作品がなかったため、教育学部久坂教授に依頼し、歌詞を制定した。

その後歌詞が決定したので、作曲を募集したが、作曲も入選作品がなかったため、東京芸術大学名誉教授松本民之助氏に作曲を依頼して、現在の学歌ができた。

学生歌について

昭和28年度校友会(現:校友会)委員から学生歌を作成したいとの意向があり、「みんなで歌える歌、創設期を脱してさらに発展をめざすとき、躍進岡大を象徴するもの」という主旨のもと、一般学生から歌詞を募集した。

選考委員会で諮った結果、三沢信弘作詞のものに決定し、作曲は宮原禎次NHK嘱託に依頼し現在の学生歌になった。

その後昭和30年度、昭和32年度にも募集して二曲の学生歌が作られている。



岡山大学

平成11年5月、マークデザイナー・宮崎利一氏、アートディレクター・橋ヶ谷佳正教育学部教授による作品
このマークは、Okayamaの「O」とUniversityの「U」から形作られ、鳥のごとく未来に向かって羽ばたき、光輝く岡山大学の姿を表現している。